

V 養護教諭（小・中学校・高等学校・特別支援学校）

1 受講前の提出書類について

(1) 提出書類

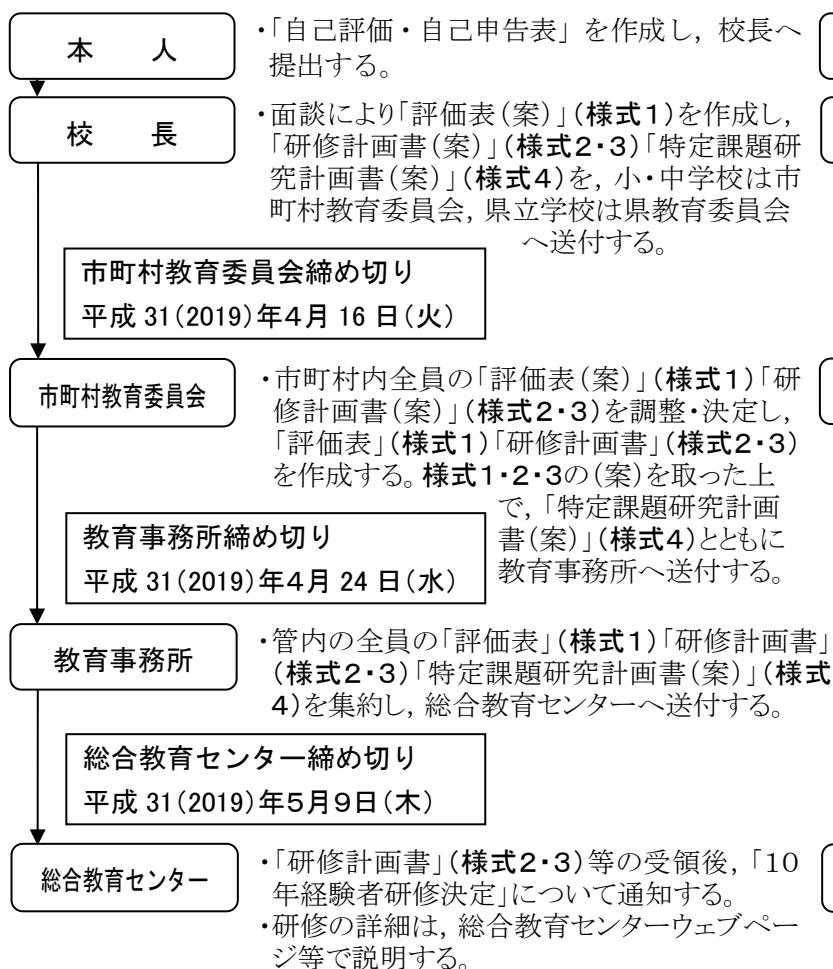
- | | | |
|---------------|------|--------------------|
| ・評価表（案） | 様式 1 | (p. 54) |
| ・校外研修計画書（案） | 様式 2 | (p. 62～p. 65) |
| ・校内研修計画書（案） | 様式 3 | (小中p. 97, 高特p. 98) |
| ・特定課題研究計画書（案） | 様式 4 | (p. 99) |
| ・鑑 | 様式※ | (p. 55) |

【注意】

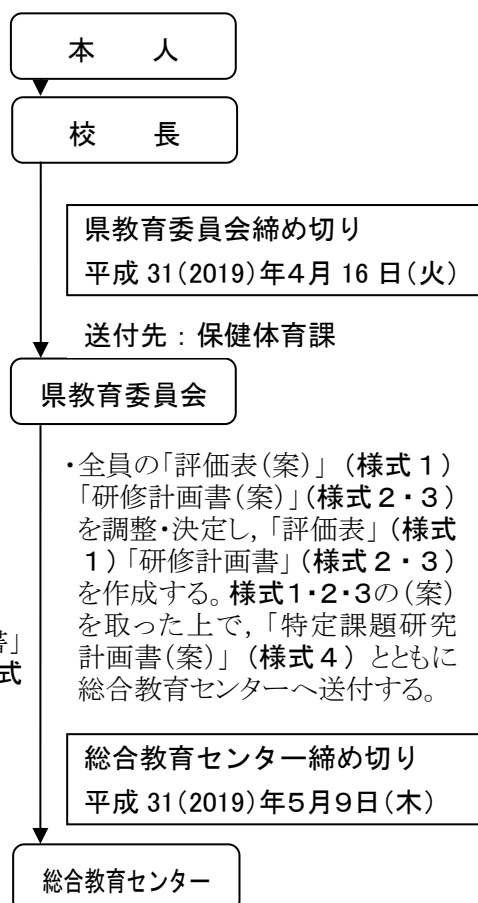
本年度の校内研修計画書（案）は、小・中学校と高等学校・特別支援学校で様式が異なります。

(2) 提出先と期限

<小・中学校養護教諭>



<高等学校・特別支援学校養護教諭>



2 評価表（案）の作成（受講前：校長）

(1) 作成に当たって

研修者に自らの課題や適性・得意分野等を再認識させ、研修意欲を喚起するとともに、研修内容が研修者にとって、より適切なものとなるよう評価を行う。

校長は、次のことに留意して p. 54 に示す「評価表(案)」（様式1）を作成する前の準備を行う。

- ① 研修者に p. 53 の「自己評価・自己申告表」（モデル案）を示し、p. 52 に示す養護教諭の「評価項目」に基づいて自己評価をさせる。
- ② 研修者の保健教育、保健管理、保健室経営等の状況を計画的に観察し、教頭、教務主任等の協力を得つつ状況をつかむ。
- ③ 「自己評価・自己申告表」（モデル案）を基に、研修者と面接を行う。

(2) 評価等の記入方法について

ア 様式について

p. 54 様式1を参照する。

イ 「1 評価」について

p. 5 2 に示す養護教諭の「評価項目」について、次の評価基準に基づき、評価を記入する。

評 価 基 準	評価
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる程度以上に、優れている。	4
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる一般的な程度を十分に満たしている。	3
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる最低限の程度を満たしている。	2
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる最低限の程度を満たしていない。	1

ウ 「2 得意分野として今後伸ばしたいと思う専門分野等とその概要」について

「10年経験者研修」の趣旨である「能力、適性等に応じた指導力の向上と得意分野づくり」を踏まえ、これまで努力した点や校内研修における「特定課題研究」で、更に充実、深化させたい研究につながる事項を記述する。

エ 「3 校長所見」について

校長は、研修者の自己評価等に基づいて面接を行った後、所見を文章で記述する。

オ 養護教諭の「評価項目」

1 保健教育に関する評価項目

(1) 計画

ア 学校保健計画に基づき、目標を適切に設定するなど、児童生徒の実態から健康課題を捉えた指導をしている。

イ 教材の取り扱いが適切であり、教材分析が正確かつ緻密である。

ウ 補助教材、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を適切に活用するなど指導方法を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用する思考力・判断力・表現力等を育成する工夫をしている。

(2) 実施

ア 発問、板書などの基本技術が適切である。

イ 指導のねらいが明確であり、指導の進め方が円滑である。

ウ 学習指導要領を理解し、科学的根拠を踏まえた指導をしている。

(3) 評価

評価方法を工夫し、指導の改善や学習意欲の向上に生かしている。

2 保健管理に関する評価項目

(1) 健康管理

ア 心身の健康管理に当たり、学校内外においてコーディネーターの役割を果たしている。

イ 健康観察や健康診断等を円滑に実施し、健康上の問題がある児童生徒に対して、必要な指導を行っている。（学校保健安全法第9条：保健指導）

(2) 救急処置及び救急体制

ア 日常の救急処置を的確に行っている。

イ 健康に関する危機管理について、組織的な対応が図られるように指導的な役割を果たしている。

(3) 学校環境衛生

ア 教職員による学校環境衛生の日常的な点検への協力と助言を行っている。

イ 学校環境衛生の定期検査について理解を深め、学校薬剤師と協力関係を構築している。

(4) 健康相談

ア 校内関係者、保護者及び関係機関等と連携を図った健康相談を、組織的に推進している。

- イ 養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談を行っている。
- ウ 児童生徒の障害及び行動等の特性について理解を深め、学校内外の連絡調整・組織体制の構築に努めている。

3 保健室経営その他に関する評価項目

(1) 保健室経営

- ア 保健室経営計画を策定し、教職員、保護者等へ周知してP D C Aサイクルによる効果的な保健室経営に努めている。
- イ 保健室が学校保健活動のセンター的役割を果たしている。
- ウ 保健室の環境整備に努めている。

(2) 保健組織活動

- ア 保健部（係）組織で指導的な役割を果たしている。
- イ 学校保健委員会等の組織活動の企画・運営に参画し、学校医等や保護者、関係者の参加や協力を得て、地域社会と連携して効果的に活動している。
- ウ 児童生徒保健委員会において、児童生徒が自主的に活動できるようにきめ細やかな指導を行っている。
- エ 学校保健委員会の協議の結果を全校の児童生徒にフィードバックできるように、事後措置活動に努めている。

(3) その他

- ア 校務を積極的、正確に処理し、的確に責任を果たしている。
- イ 校内における報告、連絡、相談を適切に行っている。また、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、その他の関係者と連携して職務を推進している。
- ウ 学校の中堅教員として他の教職員と連携・協力を適切に行うとともに、後進の指導を意識的に行っている。

(「自己評価・自己申告表」モデル案)

養護教諭 10 年経験者研修「自己評価・自己申告表」 平成 31 年 4 月 日作成

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 保健教育に関する評価	(1)計画	(2)実施	(3)評価	
2 保健管理に関する評価	(1)健康管理	(2)救急処置	(3)学校環境衛生	(4)健康相談
3 保健室経営その他に関する評価	(1)保健室経営	(2)保健組織活動	(3)その他	

2 得意分野として今後伸ばしたいと思う専門分野等とその概要

--

様式1 (小・中学校・高等学校・特別支援学校 養護教諭用)

学校番号	
------	--

※小・中の学校番号は学校基本調査と同じもの

養護教諭10年経験者研修評価表(案)

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 保健教育に関する評価	(1)計画	(2)実施	(3)評価	
2 保健管理に関する評価	(1)健康管理	(2)救急処置	(3)学校環境衛生	(4)健康相談
3 保健室経営その他に関する評価	(1)保健室経営	(2)保健組織活動	(3)その他	

2 得意分野として今後伸ばしたいと思う専門分野等とその概要

--

3 校長所見

--

平成31年4月 日

学校名

校長名

印

【注意】私印

様式※ 鑑の書式例

○○○教育委員会教育長（…小中学校の場合） 愛知県教育委員会教育長（…県立学校の場合）	殿	文 書 番 号 ○○年○月○日	【注意】 職印									
	学校名 校長名	印										
平成31年度10年経験者研修「評価表(案)」，「研修計画書(案)」 及び「特定課題研究計画書(案)」について このことについて，下記のとおり提出します。 記												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修者 職・氏名</th> <th style="width: 40%;">提 出 様 式</th> <th style="width: 30%;">(部数, 合計枚数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養護教諭 ○○○○</td> <td>様式1, 2, 3, 4</td> <td>(各1部, 計4枚)</td> </tr> <tr> <td>養護教諭 ○○○○</td> <td>様式1, 2【弾力化】</td> <td>(各1部, 計2枚)</td> </tr> </tbody> </table>				研修者 職・氏名	提 出 様 式	(部数, 合計枚数)	養護教諭 ○○○○	様式1, 2, 3, 4	(各1部, 計4枚)	養護教諭 ○○○○	様式1, 2【弾力化】	(各1部, 計2枚)
研修者 職・氏名	提 出 様 式	(部数, 合計枚数)										
養護教諭 ○○○○	様式1, 2, 3, 4	(各1部, 計4枚)										
養護教諭 ○○○○	様式1, 2【弾力化】	(各1部, 計2枚)										

※県立学校における「弾力化対象の場合」は、「平成31年度10年経験者研修の手引<受講時期の弾力化対象者用>」を参照する。

3 計画書（案）の作成に当たって（受講前：研修者）

10年経験者研修の趣旨を生かし，研修者の資質・能力向上に資することを目的に，校外研修・校内研修・特定課題研究の計画を立てる。

- (1) 研修者は，校長・教頭・教務主任等の助言を得ながら，校外研修計画書（案）（様式2）・校内研修計画書（案）（様式3）・特定課題研究計画書（案）（様式4）の三つの計画書（案）を作成する。作成に当たり，研修が学校の教育活動に支障を来さないよう計画する。
- (2) 校長は，三つの計画書（案）を評価表（案）とともに小中学校は市町村教育委員会へ，県立学校は県教育委員会へ提出する。

4 校外研修計画書（案）の作成（受講前：研修者）

校外研修は，総合教育センター等における研修が5日間，eラーニング研修が2日間，異校種・社会体験研修が3日間，合わせて10日間の研修である。以下の校外研修の説明を参考にしながら，校種別に「平成31年度10年経験者研修校外研修計画書（案）」（様式2）を作成する。（小学校はp. 62，中学校はp. 63，高等学校はp. 64，特別支援学校はp. 65）

(1) 校外研修【5日間：総合教育センター等における研修】

（養護教諭専門研修3日間，校種別合同研修2日間）

- ・ 選択研修については，研修者の希望を基に編成する。
- ・ 養護教諭専門研修，選択研修等では，事前に課題や協議資料の提出などが課される。養護教諭専門研修の内容，課題等の連絡事項については，5月下旬に総合教育センターウェブページにアップロードするので，確認すること。
- ・ 各校種別の合同研修の持ち物等，**追加連絡**は，各研修日の**2週間前**に，同ウェブページにアップロードするので，**必ず確認**すること。

<養護教諭専門研修>

開 催 日	研修領域	内 容
7月24日（水）	養護教諭 専門研修	【講義・演習】「児童生徒の理解と支援」 【講義・事例研究】「対応に困難を感じた事例から考える危機管理の在り方」
7月31日（水）		【講義・演習】「教育法規と学校保健関係法規の理解」 【講義・演習】「健康教育の理論と実際」
8月26日（月）		【講義・演習】「組織マネジメントと保健室経営」 【講義・研究協議】「組織的に進める健康な学校づくり」

<小学校合同研修>

開催日	研修領域	内 容
8月6日(火) 小学校	共通研修	講義「中堅教員に期待すること」 講義「ファシリテーター養成研修」 講義「マネジメント基礎講座」 協議「ミドルリーダーとしての心構え」
	選択研修 右の講義・演習から一つを選び、研修する。	① キャリア教育の推進 事例を基に、キャリア教育を学校全体でどう進めるか、小中の連携をどう図るかについて学び合う。 ② いじめへの具体的対応 事例を基に、いじめが起きたときの対応と、いじめを起ささないための取組について学び合う。 ③ 不登校の実際とその対応 事例を基に、不登校への対応や不登校に陥らないための学級づくりの両面から、具体的な対応の仕方を学び合う。 ④ 問題行動の現状とその対応 事例を基に、児童生徒への対応や教職員・保護者との連携の在り方について、具体的な対応を学び合う。 ⑤ 幼小の円滑な接続（小学校のみ） 幼稚園と小学校の円滑な接続を図るための具体的な取組や課題等について、情報交換や意見交流を行う。
12月26日(木) 小学校	選択研修 右の講義・演習から一つを選び、研修する。	① 道徳教育の在り方 道徳教育の要である「特別の教科 道徳」の実践について協議するとともに、道徳教育全体の在り方について学ぶ。 ② 家庭との連携 保護者との連携を深めるための具体的な取組や課題等について、情報交換や意見交流を行う。 ③ 安全教育の推進 学校事故事例を基に、事前予防のためのリスクマネジメント、緊急事態発生時のためのクライシスマネジメントの理論と実践について、情報交換や意見交流を行う。 ④ 外国語教育の実際（小学校のみ） 小学校における外国語教育の指導の在り方について学び、具体的な取組や課題等について、情報交換や意見交流を行う。
	共通研修	講義「教員の服務」
	選択研修 右の協議から一つを選び研修する。	① 心の教育～豊かな心を育てる～ 実践事例を基に、豊かな心を育てる指導の新たな視点をつかむとともに、心の教育の全体計画について学び合う。 ② 教育相談の実際 実践事例を基に、教育相談を進める上でのポイントを明らかにし、有効な手だてについて学び合う。 ③ 特別支援教育の実際 実践事例を基に、特別な支援を必要とする児童生徒への具体的な対応の視点について学び合う。 ④ コミュニケーション能力の開発 実践事例を基に、児童生徒との会話の中にあるコミュニケーションの特徴をつかみ、よりよい人間関係の築き方について学び合う。

<中学校合同研修>

開催日	研修領域	内容
8月7日(水) 中学校	共通研修	講義「中堅教員に期待すること」 講義「ファシリテーター養成研修」 講義「マネジメント基礎講座」 協議「ミドルリーダーとしての心構え」
	選択研修 右の講義・演習から一つを選び、研修する。	① キャリア教育の推進 事例を基に、キャリア教育を学校全体でどう進めるか、小中の連携をどう図るかについて学び合う。 ② いじめへの具体的対応 事例を基に、いじめが起きたときの対応と、いじめを起ささないための取組について学び合う。 ③ 不登校の実際とその対応 事例を基に、不登校への対応や不登校に陥らないための学級づくりの両面から、具体的な対応の仕方を学び合う。 ④ 問題行動の現状とその対応 事例を基に、児童生徒への対応や教職員・保護者との連携の在り方について、具体的な対応を学び合う。
12月27日(金) 中学校	選択研修 右の講義・演習から一つを選び、研修する。	① 道徳教育の在り方 道徳教育の要である「特別の教科 道徳」の実践について協議するとともに、道徳教育全体の在り方について学ぶ。 ② 家庭との連携 保護者との連携を深めるための具体的な取組や課題等について、情報交換や意見交流を行う。 ③ 安全教育の推進 学校事故事例を基に、事前予防のためのリスクマネジメント、緊急事態発生時のためのクライシスマネジメントの理論と実践について、情報交換や意見交流を行う。
	共通研修 選択研修 右の協議から一つを選び研修する。	講義「教員の服務」 ① 心の教育～豊かな心を育てる～ 実践事例を基に、豊かな心を育てる指導の新たな視点をつかむとともに、心の教育の全体計画について学び合う。 ② 教育相談の実際 実践事例を基に、教育相談を進める上でのポイントを明らかにし、有効な手だてについて学び合う。 ③ 特別支援教育の実際 実践事例を基に、特別な支援を必要とする児童生徒への具体的な対応の視点について学び合う。 ④ コミュニケーション能力の開発 実践事例を基に、児童生徒との会話の中にあるコミュニケーションの特徴をつかみ、よりよい人間関係の築き方について学び合う。

<高等学校合同研修>

開催日	研修領域	内 容
7月22日(月)	共通研修	講義「中堅教員に期待すること」 講義「ミドルリーダーに求められるコミュニケーション・スキル」 講義「ファシリテーター養成研修」
	共通研修 〔学校経営〕	講義・研究協議「ミドルリーダーとして学校運営に携わる」 次の領域から一つを選び、各選択領域受講者の混合班で研修する。 ① 学年主任の立場から これからの学年経営に何が求められるか。中堅教員として、所属校の実態をどのように変えるかについて学び合う。 ② 保健主事の立場から これからの保健指導に何が求められるか。中堅教員として、所属校の実態をどのように変えるかについて学び合う。 ③ 生徒指導主事の立場から これからの生徒指導に何が求められるか。中堅教員として、所属校の実態をどのように変えるかについて学び合う。 ④ 進路指導主事の立場から これからの進路指導に何が求められるか。中堅教員として、所属校の実態をどのように変えるかについて学び合う。
12月25日(水)	共通研修	講義・研究協議「地域に根ざした特色ある学校づくりの構想」 講義「教員の服務」
	選択研修 〔生徒指導〕	次の講義・実習・事例研究から一つを選び研修する。 ① 人間関係づくりトレーニング 職場やクラスにおける良好な人間関係づくりはどのようにしたらよいか。実習を通して理解を深める。 ② 高等学校における教育相談の意義とその手法 教育相談を組織的に進める上でのポイントを明らかにし、有効な手だてについて学び合う。 ③ 高等学校における特別支援教育の実践 特別な支援を必要とする生徒への具体的な対応の視点について学び合う。

＜特別支援学校合同研修＞

開催日	研修領域	内 容
7月22日(月)	選択研修	協議「学習指導要領を踏まえての学習指導について」 ①教科及び領域の指導 ②重複障害教育 ③職業教育
	共通研修	講義「中堅教員に期待すること」
		講義「ミドルリーダーに求められるコミュニケーション・スキル」 講義「ファシリテーター養成研修」
12月25日(水)	共通研修	講義「これからの特別支援教育～発達障害児の教育～」 講義「教員の服務」
		選択研修

(2) 校外研修【eラーニング研修】(2日間 ※全ての教材を学習して2日間分とする。)

学習に際しては、総合教育センターウェブページにアップロードする平成31年度研修事業案内p.64～p.67「IV eラーニング研修の実施について」を参照するとともに、以下の点に留意する。

ア 学習する教材

日	教材名	学習期間
1	「10年経験者研修を受講するに当たって」	平成31(2019)年6月3日(月)から 平成31(2019)年7月5日(金)まで
	◇「特定課題研究の進め方とまとめ方」	
2	「人権教育について(基礎編)」	平成31(2019)年8月26日(月)から 平成32(2020)年1月10日(金)まで
	「ESD(持続発展教育)について」	
	「情報モラル」	

◇「特定課題研究の進め方とまとめ方」は、平成31(2019)年8月20日(火)から平成32(2020)年1月10日(金)まで再度学習できる。

イ 受講ガイダンス

- 教材を学習する前に、必ず、総合教育センターウェブページにアップロードする受講ガイダンスを読む。
- アクセス方法は、総合教育センターウェブページにある「eラーニング研修」のボタンをクリックし、新たにページを表示させた後、「受講ガイダンス」のボタンをクリックする。
- 総合教育センターウェブページ <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>

(3) 校外研修【異校種・社会体験研修】(3日間)

ア ねらい

豊かな社会性や望ましい人間関係能力を育成するために、10年経験者研修の一環として、社会福祉施設、各種企業、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において、異校種・社会体験研修を行い、教員としての幅広い資質・能力の向上に資する。

イ 研修時期

6月下旬から12月までの3日間

ウ 研修先

社会福祉施設、社会教育施設、企業、幼稚園、学校、その他の施設とし、勤務地、自宅から遠隔な研修先は避ける。

エ 研修内容

- ・異校種体験研修と社会体験研修を合わせて3日とし、3日の内訳は問わない。
- ・3日間全てを異校種体験研修にする場合は、同一校種で重ならないように、1日ずつになる校種で実施する。
例) 小学校養護教諭⇒幼稚園, 中学校, 高等学校, 特別支援学校で研修
特別支援学校養護教諭⇒幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校で研修

オ その他

校外研修で聴き取った学校(勤務校)へのニーズを第5回集合研修事前課題に反映できるとよい(高等学校養護教諭)。

【異校種体験研修】

異校種体験研修には「授業参観と講義, 研究協議等への参加」「研究発表会・授業研究会等への参加」の2パターンがある。

研修者は、総合教育センターウェブページにアップロード(4月下旬)される「異校種体験研修受け入れ校・園一覧」(以下「受け入れ一覧」), 「研究委嘱・研究発表校(園)一覧」を基に、研修先を検討し、各自で申し込む。申し込み手順は以下のとおり。

■異校種体験研修を希望する場合の申し込み手順

●「授業参観と講義, 研究協議等への参加」を希望する場合

【申し込み期日指定の学校(園)】

- ①研修者は勤務校校長と十分協議の上、「受け入れ一覧」を参考に、原則として6月11日(火)から6月18日(火)までにp.104に示された「申込書(様式8)」をファックスで希望する研修先に送る。
- ②研修者は希望する研修先から、6月末日までに受け入れの可否をファックスで受け取る。
- ③研修者は受け入れ可の場合、p.107「受け入れ依頼書(様式11)」を作成し、勤務校校長を通して研修先に事前送付する。

【随時受け入れ可能な学校(園)】

- ①研修者は「受け入れ一覧」を参考に、勤務校校長と十分協議の上、研修者自身が希望する研修先に連絡を取り、期日、研修内容等の確認をし、内諾を得る。
- ②研修者は受け入れ可の内諾を得た場合、勤務校校長を通して、研修先の校長・園長に電話等で依頼し、実施日を正式決定する。
- ③研修者は正式に受け入れ可となった場合、p.107「受け入れ依頼書(様式11)」を作成し、勤務校校長を通して研修先に事前送付する。

●「研究発表会・授業研究会等への参加」を希望する場合

- ①研修者は「研究委嘱・研究発表校(園)一覧」及び希望する研修先のウェブページ等で研究発表の期日・申し込み方法等を確認し、勤務校校長と十分協議の上、研修者自身が申し込む。
- ②研修者はp.104「申込書(様式8)」を送付するとともに研修先指定の研究発表会等の参加申し込みも行う。

<異校種体験研修の留意事項>

- ・高等学校養護教諭が特別支援学校での研修を希望する場合、受け入れ校が地区指定されているため、「受け入れ一覧」で確認の上、申し込むこと。
- ・研修者が特別支援学校での研修を希望する場合、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱を全て併せて1校種とするので、複数の特別支援学校での研修を実施することはできない。
- ・研修者が「研究発表会・授業研究会等への参加」を選択する場合は、異校種体験研修の趣旨にのっとり異校種で実施される研究会へ参加すること。
- ・各種様式は「10年経験者研修の手引」に掲載すると同時に、3月下旬に総合教育センターのウェブページにアップロードするので参考にする。

【社会体験研修】

福祉，環境，生涯学習，ボランティア，企業等への勤務等の社会体験活動を行う。

研修先については，研修者自身が探し，勤務校校長と相談の上決定し，最終的には，p. 107「受け入れ依頼書（様式 11）」を参考にして，勤務校校長が受け入れ先に依頼する方法をとる（ただし，研修先によっては，この限りではない）。

<社会体験研修の留意事項>

- ・危険を伴わない研修先を探す。
- ・職務上の命令による研修であるので，週休日や休日，勤務時間外の研修は認められない。ただし，勤務の割り振りで対応できると認められる研修については，この限りではない。

【参考】 研修先分類番号（様式 2，6などで利用）

① 社会福祉施設		② 社会教育施設		③ 企業等		④ 学校（異校種体験研修）		
1	老人福祉施設	7	公民館・市民館 文化センター	14	株式会社	18	幼稚園 幼稚園型認定こども園 幼保連携型認定こども園	
2	児童福祉施設 保育所・保育園 保育所型認定こども園 幼保連携型認定こども園	8	図書館	15	有限会社	19	小学校	
3	母子福祉施設	9	児童館・児童センター	16	合名会社	20	中学校	
4	身体障害者支援施設	10	美術館	17	その他の企業等	21	高等学校	
5	知的障害者援助施設	11	博物館・郷土館・資料館			22	特別支援学校	
6	その他の福祉施設	12 13	科学館 その他の社会教育施設					
⑤ その他								
環境 保護 施設	23	清掃事業施設	医療 保健 施設	26	病院	スポ ーツ 施設	30	スポーツセンター・ 体育館・武道場
	24	環境保護施設		27	保健センター			
	25	その他の環境保護施設		28	保健所			
			29	その他の医療保健施設	31	野外教育施設		
					32	その他のスポーツ施設		

※幼保連携型認定こども園については，幼稚園的機能（④学校）と保育所的機能（①社会福祉施設）の両方を併せもっているため，各自の目的に合わせて，研修先と相談の上，決定・分類すること。

※企業，団体等で分類が不明のものは，「③-17」とする。

様式2（小学校 養護教諭用）

学校番号	2	3			
------	---	---	--	--	--

※学校番号は学校基本調査と同じもの

平成31年度10年経験者研修校外研修計画書（案）

学校名		職名		氏名	
-----	--	----	--	----	--

1 校外研修【総合教育センター等における研修】（合計5日間）

1	7月24日（水）	養護教諭 専門研修	講義・演習「児童生徒の理解と支援」 講義・事例研究「対応に困難を感じた事例から考える危機管理の在り方」				
2	7月31日（水）	養護教諭 専門研修	講義・演習「教育法規と学校保健関係法規の理解」 講義・演習「健康教育の理論と実際」				
3	8月6日（火）	共通研修 講義「中堅教員に期待すること」「ファシリテーター養成研修」 「マネジメント基礎講座」 協議「ミドルリーダーとしての心構え」		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
		選択研修 講義・演習 ①キャリア教育の推進 ②いじめへの具体的対応 ③不登校の実際とその対応 ④問題行動の現状とその対応 ⑤幼小の円滑な接続		第1		第2	
4	8月26日（月）	養護教諭 専門研修	講義・演習「組織マネジメントと保健室経営」 講義・研究協議「組織的に進める健康な学校づくり」				
5	12月26日（木）	選択研修 講義・演習 ①道徳教育の在り方 ②家庭との連携 ③安全教育の推進 ④外国語教育の実際		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
		共通研修 講義「教員の服務」		第1		第2	
		選択研修 協議 ①心の教育 ②教育相談の実際 ③特別支援教育の実際 ④コミュニケーション能力の開発		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
				第1		第2	

・（注）開催期日に一部変更が生じる場合がある。その場合は、後日、総合教育センターウェブページで通知する。

2 校外研修【異校種・社会体験研修】（合計3日間）

研修希望月	研修先（予定）分類番号 ※研修先（予定）分類番号を一つ記入する。 ※p. 61の研修先分類番号を参照する。	研修先（予定） ※決定先または予定先を記入する。 ※予定の場合、校種名や業種名でよい。 ※予定は、 <u>変更してもよい</u> 。変更の場合、 <u>報告の必要はない</u> 。
例	①-2	〇〇市立〇〇保育園
()月の予定	—	
()月の予定	—	
()月の予定	—	

様式2 (中学校 養護教諭用)

学校番号	2	3				
------	---	---	--	--	--	--

※学校番号は学校基本調査と同じもの

平成31年度10年経験者研修校外研修計画書(案)

学校名		職名		氏名	
-----	--	----	--	----	--

1 校外研修【総合教育センター等における研修】(合計5日間)

1	7月24日(水)	養護教諭 専門研修	講義・演習「児童生徒の理解と支援」 講義・事例研究「対応に困難を感じた事例から考える危機管理の在り方」				
2	7月31日(水)	養護教諭 専門研修	講義・演習「教育法規と学校保健関係法規の理解」 講義・演習「健康教育の理論と実際」				
3	8月7日(水)	共通研修 講義「中堅教員に期待すること」「ファシリテーター養成研修」 「マネジメント基礎講座」 協議「ミドルリーダーとしての心構え」		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
		選択研修 講義・演習 ①キャリア教育の推進 ②いじめへの具体的対応 ③不登校の実際とその対応 ④問題行動の現状とその対応	第1		第2		
4	8月26日(月)	養護教諭 専門研修	講義・演習「組織マネジメントと保健室経営」 講義・研究協議「組織的に進める健康な学校づくり」				
5	12月27日(金)	選択研修 講義・演習 ①道徳教育の在り方 ②家庭との連携 ③安全教育の推進		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
		共通研修 講義「教員の服務」		第1		第2	
		選択研修 協議 ①心の教育 ②教育相談の実際 ③特別支援教育の実際 ④コミュニケーション能力の開発		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
		第1		第2			

(注) 開催期日に一部変更が生じる場合がある。その場合は、後日、総合教育センターウェブページで通知する。

2 校外研修【異校種・社会体験研修】(合計3日間)

研修希望月	研修先(予定)分類番号 ※研修先(予定)分類番号を一つ記入する。 ※p. 61の研修先分類番号を参照する。	研修先(予定) ※決定先または予定先を記入する。 ※予定の場合、校種名や業種名でよい。 ※予定は、変更してもよい。変更の場合、 報告の必要はない。
例	①-2	〇〇市立〇〇保育園
()月の予定	—	
()月の予定	—	
()月の予定	—	

様式2（高等学校 養護教諭用）

学校番号	
------	--

平成31年度10年経験者研修校外研修計画書（案）

学校名		職名		氏名	
-----	--	----	--	----	--

1 校外研修【総合教育センター等における研修】（合計5日間）

1	7月22日（月）	講義「中堅教員に期待すること」 講義「ミドルリーダーに求められるコミュニケーション・スキル」 講義「ファシリテーター養成研修」					
		講義・研究協議「ミドルリーダーとして学校運営に携わる」					
		①学年主任の立場から ②保健主事の立場から ③生徒指導主事の立場から ④進路指導主事の立場から		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
		第1		第2			
2	7月24日（水）	養護教諭 専門研修	講義・演習「児童生徒の理解と支援」 講義・事例研究「対応に困難を感じた事例から考える危機管理の在り方」				
3	7月31日（水）	養護教諭 専門研修	講義・演習「教育法規と学校保健関係法規の理解」 講義・演習「健康教育の理論と実際」				
4	8月26日（月）	養護教諭 専門研修	講義・演習「組織マネジメントと保健室経営」 講義・研究協議「組織的に進める健康な学校づくり」				
5	12月25日（水）	講義・研究協議「地域に根ざした特色ある学校づくりの構想」 講義「教員の服務」					
		選択研修 講義・実習・事例研究 ①人間関係づくりトレーニング ②高等学校における教育相談の意義とその手法 ③高等学校における特別支援教育の実際		第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
				第1 第2			

・（注）開催期日に一部変更が生じる場合がある。その場合は、後日、総合教育センターウェブページで通知する。

2 校外研修【異校種・社会体験研修】（合計3日間）

研修希望月	研修先（予定）分類番号 ※研修先（予定）分類番号を一つ記入する。 ※p. 61の研修先分類番号を参照する。	研修先（予定） ※決定先または予定先を記入する。 ※予定の場合、校種名や業種名でよい。 ※予定は、 <u>変更してもよい</u> 。変更の場合、 <u>報告の必要はない</u> 。
例	③－17	〇〇農業協同組合
（ ）月の予定	—	
（ ）月の予定	—	
（ ）月の予定	—	

様式2（特別支援学校 養護教諭用）

学校番号	
------	--

平成31年度10年経験者研修校外研修計画書（案）

学校名		職名		氏名	
-----	--	----	--	----	--

1 校外研修【総合教育センター等における研修】（合計5日間）

1	7月22日（月）	選択研修 研究協議「学習指導要領を踏まえての学習指導について」 ①教科及び領域の指導 ②重複障害教育 ③職業教育	第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
			第1		第2	
		講義「中堅教員に期待すること」 講義「ミドルリーダーに求められるコミュニケーション・スキル」 講義「ファシリテーター養成研修」				
2	7月24日（水）	養護教諭 専門研修	講義・演習「児童生徒の理解と支援」 講義・事例研究「対応に困難を感じた事例から考える危機管理の在り方」			
3	7月31日（水）	養護教諭 専門研修	講義・演習「教育法規と学校保健関係法規の理解」 講義・演習「健康教育の理論と実際」			
4	8月26日（月）	養護教諭 専門研修	講義・演習「組織マネジメントと保健室経営」 講義・研究協議「組織的に進める健康な学校づくり」			
5	12月25日（水）	講義「これからの特別支援教育～発達障害児の教育～」 講義「教員の服務」				
		選択研修 講義・事例研究「生徒理解」 ①人間関係づくりトレーニング ②特別支援教育相談の意義と事例研究 ③幼児児童生徒のアセスメントの重要性	第1希望番号, 第2希望番号を記入する。			
			第1		第2	

・（注）開催期日に一部変更が生じる場合がある。その場合は、後日、総合教育センターウェブページで通知する。

2 校外研修【異校種・社会体験研修】（合計3日間）

研修希望月	研修先（予定）分類番号 ※研修先（予定）分類番号を一つ記入する。 ※p. 61の研修先分類番号を参照する。	研修先（予定） ※決定先または予定先を記入する。 ※予定の場合、校種名や業種名でよい。 ※予定は、 <u>変更してもよい</u> 。変更の場合、 <u>報告の必要はない</u> 。
例	①-2	〇〇市立〇〇保育園
()月の予定	—	
()月の予定	—	
()月の予定	—	

5 校内研修計画書（案）の作成（受講前：研修者）

＜小・中学校に在籍する養護教諭＞ ※高等学校・特別支援学校の養護教諭は、p. 67を参照。

保健教育等の学校保健活動を通じた研究，特定課題研究のほか，研修者の能力，適性等に応じ，校内研修の項目例（p. 70）等を参考に，計画を立て，「校内研修計画書（案）」をp. 97の様式3により作成する。

計画書の作成に当たっては，次のことに留意する。

- (1) 日数は，能力，適性等に応じて5日から10日の間とする。
- (2) 総合教育センター等で実施される校外研修の内容と重複しないように配慮する。
※校外研修の成果の還元を図る内容については認める。
- (3) 校内だからこそできる，学校の実態に合った内容で実施する。
- (4) 指導者については，校長を中心に，校内の主任，ベテラン教員をはじめ地域の学識経験者等の積極的な活用を図る。
- (5) 職務上の命令による研修であるので，週休日や休日，勤務時間外の研修は認められない。ただし，勤務の割り振りで対応できると認められる研修については，この限りではない。

＜校内研修計画書モデル案＞

様式3（小・中学校 養護教諭用）

学校番号

230000

※小・中の学校番号は学校基本調査と同じもの

平成31年度10年経験者研修校内研修計画書（案）

学 校 名

研修者 職・氏名

実施計画月	日数	研 修 内 容	指 導 者 等	場 所 等
5月	1日	○10年経験者研修の開始に向けて ・研修の意義 ・特定課題研究のテーマ設定や研究の進め方	・教務主任	校 内
5月	1日	○校長講話 ・これからの教育の在り方 ・研修を受ける教員に望むこと	・校長	校 内
		○学校運営について		
8月	2日	○特定課題研究 ・研究に関する情報収集，研究経過まとめ	・教務主任	校 内
10月	1日	○保健教育 ・研究授業 ・研究協議会	・校長，教頭 ・教務主任 ・保健主事	校 内
12月	2日	○保護者との連携 ・PTA活動の実際 ○キャリア教育	・校（総）務主任 ・進路指導主事	校 内
2月	1日	○発表会 ・特定課題研究校内発表会	・校長，教頭 ・全職員	校 内
10年経験者研修「校内研修」 計画日数 ○○日				

＜高等学校・特別支援学校に在籍する養護教諭＞ ※小・中学校の養護教諭は、p. 66を参照。

授業実践を通じた授業研究や教材研究，特定課題研究のほか，研修者の能力，適性等に応じ，校内研修の項目例（p. 70）等を参考に計画を立て，「校内研修計画書（案）」をp. 98の様式3により作成する。なお，マネジメント力向上のためのOJTについては，下記枠内を参照のこと。

計画書の作成に当たっては，次のことに留意する。

- (1) マネジメント力向上のためのOJTのほかに，能力，適性等に応じて日数を3日から8日の間とする。
- (2) 校内だからこそできる，学校の実態に合った内容で実施する。
- (3) 指導者については，校長を中心に，校内の主任，ベテラン教員をはじめ地域の学識経験者等の積極的な活用を図る。
- (4) 職務上の命令による研修であるので，週休日や休日，勤務時間外の研修は認められない。ただし，勤務の割り振りで対応できると認められる研修については，この限りではない。

マネジメント力向上のためのOJTの計画について

1 重点的に取り組みたいこと

研修者の職務，所属校の教育目標等を鑑み，研修者が「重点的に取り組みたいこと」を記載する。その際，研修者の資質・能力の向上だけでなく，学校教育活動の活性化につながるものとなるよう，校長・教頭等の助言を得る。また，マネジメント力の向上がねらいであることに留意する。

2 OJTの計画

1で定めた「重点的に取り組みたいこと」を達成するための，OJTの手だてを計画する。なお，OJTの進め方等については，p. 67，p. 68を参照のこと。

計画書の作成に当たっては，p. 69の記入例を参考にし，次のことに留意する。

- (1) 日常の業務を，マネジメント力を向上させる意図をもって見つめ直し，手だてとする。
- (2) 管理職や先輩からの指導・助言を仰ぐだけでなく，初任者等，後進の育成を含めた，学校組織の活性化にも目を向ける。
- (3) 校外研修とOJTが有機的に関連付けられるよう工夫する。

◆OJT（On The Job Training）とは

日常の業務を遂行する中で，教師としての資質・能力を，意図的・計画的・継続的な視点を持ち，高めるための取組

OJTとは，職場において研修の時間を新たに設定して取り組むものではなく，研修者自身が，研修の目的意識をもちながら，自ら調べたり，同僚に相談したり，先輩や管理職に具体的な指導・助言を仰いだりしながら，日常の業務を遂行する中で，資質・能力を高めていく活動である。

◆効果的なOJTを進めるための工夫

研修者及び研修に関わる教職員の資質・能力の向上 → 学校教育活動の活性化

- **研修者の学校経営参画を見据えた課題設定**
管理職との面談等を通して、学校経営方針や研修者の状況を踏まえ、課題を設定する。
- **職員への周知**
研修者がどんな課題で取り組むのかを職員が知っていることで、相談や助言が受けられやすくなる。
- **組織の工夫**
各校の実態や研修者の状況に応じて、「研修者に相談役としてメンター（指導者・助言者となる同僚）を付ける」「プロジェクトチームを編制する」等、工夫をしながら取り組む。
- **場の設定**
必要に応じて諸会議、諸行事を開設したり、既存の会議等を活用したりする。
- **振り返り**
管理職や関係教職員が適時助言することにより、研修が今後の教育活動に生かされるようにする。

◆OJTの実践例

- ・学年主任として、情報の共有化を図りながら目指す生徒像を実現する。

「学年はチームである」という認識の下、管理職との面談や学年教員との話し合いを通してビジョンを共有した上で、具体的な手だてや取組を企画する。また、学年会以外でも話す時間と場を意識的に設け、同僚教員の話の聞いたり、一緒に課題を整理したりする。若手教員には活躍できる場をつくり、成果を認めて自信をもたせる。

- ・学年団の一員として、目指す生徒像を実現する。

「自立活動の時間における指導」に向けた研究計画の周知や研究実践、次年度に向けた課題やまとめを各部の教務主任や研究主任と連携しつつ、学年主任とともに学年の中心となって進める。定期的に学年の研究日を計画したり、研究日後に関係教職員や管理職と協議をしたり、他学年と状況を確認し有効な指導法などを共有し、同じ学年の教員に提案したりする。

- ・生徒指導を中心に、教員間の連携を図り、目指す生徒像を実現する。

管理職との面談を定期的に行いながら、教員間でも生徒に関する情報を共有し、全教員の生徒指導に関する方針の共通理解を図る。同僚とともに生徒理解を深めるための方策を考え、定期的に振り返りを行いながら進める。その際、若手や同僚にある程度仕事を任せ、進捗状況の確認を密にして、学校全体の取組につなげる。

- ・養護教諭として、組織的に学校保健活動の推進を図り、目指す生徒像を実現する。

関係教職員及び学校医等と連携し、学校保健委員会の計画・立案をする。児童生徒の健康課題を研究協議し、具体的な手だてや取組を企画し、健康づくりを推進する。

<校内研修計画書記入例>

様式3 (高等学校, 特別支援学校用)

学校番号

平成31年度高等学校・特別支援学校(養護教諭・栄養教諭を含む)

10年経験者研修校内研修計画書(案)

学 校 名	
研修者 職・氏名	

1 校内研修(教諭:11日~16日, 養護教諭・栄養教諭:3~8日)

実施計画月	日数	研 修 内 容	指導者等	場所等
5月	1日	○10年経験者研修の開始に向けて ・研修の意義 ・特定課題研究のテーマ設定や研究の進め方	・教務主任 ・研修部主任	校 内
5月	1日	○校長講話 ・これからの教育の在り方 ・研修を受ける教員に望むこと	・校長	校 内
////////////////////////////////////				
8月	2日	○特定課題研究 ・研究に関する情報収集, 研究経過まとめ	・教務主任	校 内
10月	1日	○保健教育 ・研究授業 ・研究協議会	・校長, 教頭 ・教務主任 ・保健主事	校 内
12月	2日	○保護者との連携 ・PTA活動の実際 ○キャリア教育(進路指導)	・総務主任 ・進路指導主事	校 内
2月	1日	○発表会 ・特定課題研究校内発表会	・校長, 教頭 ・全職員	校 内
10年経験者研修「校内研修」計画日数 ○○日				

2 マネジメント力向上のためのOJT

(1) 重点的に取り組みたいこと

関係教職員と連携しながら, 生徒の基本的生活習慣の確立を目指す。

(2) OJTの計画

実施計画月	O J T の 手 だ て
6~7月	・分掌における立案 教務主任, 生徒指導主事, 学年主任, 保健主事の指導・助言のもと, 生徒の基本的生活習慣の確立に有効な方策を考え, 起案文書を作成し, 分掌会・学年会・運営委員会で提案する。 ・6月に提案した方策の実施 「生活実態調査」を実施し, 全校集会で生徒の現状を踏まえた講話を行う。
9~11月	・校外研修を踏まえた振り返り 1学期に行った立案・実施に関して, 校外研修で得た知見を基に再検討する。その際, 関係教職員との協議も行う。 ・振り返り 関係教職員とともに振り返りを行い, 研修を通して学んだことや学校に還元できたことを整理する。

<校内研修の項目例>

研修分野	校内研修の項目例	研修分野	校内研修の項目例
<p>基礎的素養</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中堅教員としての心構えと服務 ○学校組織の運営と経営の在り方 ○後進の育成 ○学習指導要領と教育課程の編成・実施・評価 ○学校教育目標とその具現化 ○校内組織（校務分掌）の在り方 ○学校保健の在り方 ○学校安全の在り方 ○危機管理体制の在り方 ○道徳教育の進め方 ○人権教育の進め方 ○環境教育の進め方 ○食に関する指導の進め方（給食指導を含む） ○教育の情報化，国際化等への対応 ○体験活動の在り方と進め方 ○特別な教育的支援を要する幼児児童生徒の理解 ○公簿とその整理 ○開かれた学校づくり ○PTA組織とその運営 	<p>特別活動</p> <p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全体計画と年間指導計画の立案・活用 ○学級活動・ホームルーム活動の進め方 ○児童会・生徒会活動の指導と評価 ○学校行事の意義 ○部活動指導法 ○交流教育（学校・地域）の進め方 ○特色ある学校づくり ○学校図書館の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒理解の内容と方法 ○教員と幼児児童生徒との人間関係 ○基本的生活習慣の育成 ○褒め方・叱り方 ○交通安全指導 ○情報モラルの向上策 ○規範意識の向上策 ○集団指導と個別指導 ○生徒指導体制の在り方 ○問題行動の事例研究 ○不適応行動への対応 ○いじめ・不登校，怠学，虐待への対応 ○教育相談の意義と実際 ○家庭・地域連携の在り方
<p>保健室経営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保健室経営計画の作成 ○保健室経営の実際とその評価の在り方 ○保健室の環境づくり ○保健指導の進め方 ○学校環境衛生活動の進め方 ○健康相談の進め方 ○健康観察の意義 ○健康診断票等の諸表簿の管理 ○保健室からの情報発信 ○学校医等との連携 ○保護者との面談の進め方 	<p>キャリア教育（進路指導）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職業観・勤労観の育成 ○職場体験活動・インターンシップの進め方 ○進路指導のための校内体制 ○進路説明会・検討会の進め方 ○就職指導の在り方 ○学級活動等における進路指導の方法と実際
<p>教科指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画の作成 ○学習指導案の作成 ○授業実践に関する技術 ○個に応じた学習指導の在り方 ○教科における指導の実際 ○教育機器の活用 ○教科指導の反省と評価 ○教材研究の方法と実際 ○教材・教具の開発 ○多様な学習集団づくり 	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自立活動の進め方 ○総合的な学習（探究）の時間の進め方 ○各種研究発表会への参加 ○校内研究授業 ○校内授業参観 ○特定課題研究（調査・発表）

6 特定課題研究計画書(案)の作成(受講前:研修者)

特定課題研究は、必修とし、校内研修の中核に位置付ける。そのテーマは、「評価表(案)」に記述した「得意分野として伸ばすべき、特に優れた指導力等を有する分野等」の内容を、更に発展・充実させることを目的として設定する。また、研究領域・分野及び内容は、下記の要件を満たすものとする。

なお、年度末には、校内で研究発表会を開催する。「特定課題研究計画書(案)」は p. 99 の様式 4 に従い作成する。

(1) 研究領域・分野について

各自が教科・科目(指導方法や教材開発等)、特別の教科 道徳、自立活動、総合的な探究(学習)の時間、特別活動(ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事)、特別支援教育の専門領域、養護教諭の専門分野等の中から、一年間を通して教育実践ができる研究テーマを設定する。教育課程外の活動である部活動や課外授業は研究テーマとして望ましくない。

(2) 内容について

現実的な教育に関する課題であり、児童生徒の変容や成長に直接関わる研究を内容とする。

7 研究の進め方及び報告書の提出(受講後:研修者)

計画を基に実践研究を進め、全ての研修が終了後、報告書を作成し、提出する。

(1) 研究の進め方

- ・ eラーニング研修「特定課題研究の進め方とまとめ方」(6月上旬視聴開始)を参考にして適宜研究を進めていく。
- ・ 研修教材の資料をダウンロードして参考にする。

(2) 特定課題研究報告書(様式5)

p. 100 の様式に従い、報告する。

特定課題研究の要旨を A4 判用紙、4 ページ(両面印刷2枚)以上にまとめる。

(3) 10年経験者研修実施報告書(様式6)

【注意】小・中学校と高等学校・特別支援学校で様式が異なります。

<小・中学校に在籍する養護教諭>

p. 101 の様式に従い、全ての10年経験者研修に関する研修を月日順に記載し、報告する。

<高等学校・特別支援学校に在籍する養護教諭>

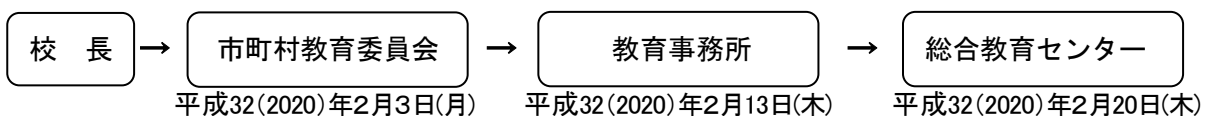
p. 102 の様式に従い、10年経験者研修に関する校外・校内研修については月日順に記載する。

また、マネジメント力向上のためのOJTについては、p. 72の「(5) 報告書『2 マネジメント力向上のためのOJT』の記載例」を参考に記載し、報告する。

(4) 様式5・6の提出先と提出期限

<小・中学校に在籍する養護教諭>

様式5	正1部	→	正1部	→	正1部
様式6	正1部, 写2部	→	正1部, 写1部	→	正1部



<高等学校・特別支援学校に在籍する養護教諭>

様式5, 様式6 → 正各1部



※封筒の表左隅に、**10年経験者研修実施報告書・特定課題研究報告書 在中**と朱書きする。

(5) 報告書「2 マネジメント力向上のためのOJT」の記載例

実施月	研 修 内 容
6～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌会，学年会，運営委員会での提案 6月3日，生徒の基本的な生活習慣の確立のために有効な方策について，教務主任・学年主任・保健主事の助言を受け，全学年で「生活実態調査」を実施し，生徒の実態を踏まえ，全校集会で講話を実施することを提案した。保健主事に相談しながら，起案文書を作成し，6月11日の保健部会，6月20日の学年会で提案した。関係教員の助言を基に修正したものを，6月24日の運営委員会で提案した。 ・全校集会での講話 6月に実施した「生活実態調査」生徒の現状を踏まえ，7月2日の全校集会で講
9～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・校外研修を踏まえた振り返り 9月26日，保健主事に校外研修で学んだことを報告し，「生活実態調査」・全校集会での講話に関して，1学期に行った関係教員との連絡・調整について振り返った。また，教務主任，学年主任に，1学期の記録の分析結果を報告した。 10月18日，教務主任・学年主任・保健主事から助言を受け，啓発資料の作成をし，保健委員が各クラスで啓発資料を配付する際に，内容について伝達できるよう指導した。 ・振り返り 11月22日，1・2学期の取組について，教務主任，研修主任，学年主任，保健主事と振り返りを行い，今後の課題を共有した。

8 事後評価

研修終了後、校長は本表（様式7）により事後評価を行い、今後の指導や研修に活用する。

様式7（小・中学校・高等学校・特別支援学校 養護教諭用）

平成31年度10年経験者研修事後評価表

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 保健教育に関する評価	(1) 計画	(2) 実施	(3) 評価	
2 保健管理に関する評価	(1) 健康管理	(2) 救急処置	(3) 学校環境衛生	(4) 健康相談
3 保健室経営その他に関する評価	(1) 保健室経営	(2) 保健組織活動	(3) その他	

2 校長所見

学校名

校長名

㊦

【注意】私印

※本表（様式7）は、学校で保管する（愛知県総合教育センター等への提出は要しない）。